

SECTION
11

求人媒体・方法の選択

求める人材の能力や雇用形態が決まったら、その条件を満たす求職者を集めます。期待する人材が集まるかどうかは、どの求人媒体・方法を選ぶかで大きく異なってきます。

セクションのポイント

求人媒体の種類

媒体	費用	効果期間	適した人材	告知範囲
新聞	高い	短い	正社員	広い
折り込み広告	比較的安い	短い	パート・アルバイト	狭い
求人雑誌	高い	比較的短い	全職種	広い
フリーペーパー	比較的安い	比較的短い	パート・アルバイト	比較的狭い
転職サイト	比較的高い	比較的長い	全職種	広い

求人方法

方法	費用	効果期間	適した人材	規模
ハローワーク	無料	3カ月更新あり	全職種	広い
人材紹介会社	採用前は無料	長い	幹部人材	広い
派遣会社	採用前は無料	長い	派遣社員	広い
店頭・チラシ	安い	比較的短い	パート・アルバイト	狭い
自社HP	外注しなければ安い	長い	全職種	広い

KEY WORD

◆求人媒体

新聞や雑誌、インターネットなど求人用の広告スペースを用意する媒体は多い。それぞれ効果が異なるため、利点を生かした活用が採用の鍵を握る。

◆ハローワーク

厚生労働省の行政機関の愛称で正式名称は「公共職業安定所」。求職者への求人情報提供や、雇用保険業務がメインの業務となっている。

■ 求人内容を告知できる媒体・方法

欲しい人材を獲得するためには、求人活動をする必要があります。求人内容を告知できる主な媒体・方法は次のとおりです。

- (1) 新聞
- (2) 求人雑誌
- (3) 折り込み広告
- (4) フリーペーパー
- (5) 転職サイト
- (6) ハローワーク
- (7) 派遣会社
- (8) 人材紹介会社
- (9) 自社HP
- (10) 店頭チラシ

それぞれの特徴は、左ページの表にまとめてあります。一般的な特徴としては新聞や求人雑誌は、広告費用が高価で広告効果も短期間のため、起業したての会社が利用するには、不向きといえるでしょう。

■ それぞれの特徴を理解して媒体を選択する

まず第一に試してみるべきなのは、ハローワークと転職サイトです。ハローワーク(公共職業安定所)は、いわずと知れた国の職業紹介施設で、企業にとっては無料で求人できる点が一番の魅力です。最近では、インターネットで求人情報を公開するようになったため、今まで以上に多くの人を利用し、優秀な人材も集まりやすくなったといえるでしょう。

一方、インターネットによる転職サイトの利用も急激に伸びています。もはや求人募集のメイン媒体ともいえる勢いで、こちらは利用するサイトをしっかり選んで活用したいものです。

それからインターネットを利用する場合には是非行っていただきたいのは、自社ホームページ内の採用ページの充実です。転職サイトでは訴え切れなかった詳しい情報を載せることができ、自社の魅力を強力にPRすることが